



慶應義塾大学ビジネス・スクール

鹿児島銀行

5

— 企業改革と女性活用 —

ケースライターの興味

九段大学ビジネススクールの浅田教授は、会合で「有能な女性が管理職に昇進したがない」という悩みを人事部長らから聞くことが多かった。勤務するビジネススクールのMBAの女子学生にヒアリングをしても、一定数の学生から「管理職に就くことに魅力を覚えない」という声があがっていた。

浅田は厚生労働省が1999年より毎年、女性が働きやすい環境を提供する企業を表彰する「均等推進表彰」の表彰企業のリストを眺めている内に、過去に高位の賞である厚生労働大臣優良賞以上を受賞し、また他の賞も受賞している企業がいくつかあることに気がついた。

その内の一つ、鹿児島銀行の厚生労働大臣優良賞(2009)の受賞理由として以下のように記されていた。

20

◇ 経営トップが女性の活用を積極的に進めることを明確にし、その方針をうけて、人事部が中心となって、女性の積極的な採用、育成、活用を進めている。

◇ 現場力向上に向けて人事制度を再構築する中で、女性の総合職の採用、女性の役職者の増加、女性の職域拡大に向けた取り組みが進んだ。

25

—厚生労働省 均等・両立企業表彰受賞企業一覧より

このケースは、株式会社鹿児島銀行の協力を得てヒヤリング調査を行い、また社内資料、公開情報も使用することで、法政大学大学院教授 高田朝子と慶應義塾大学教授 横田絵理が作成した。

なお、本文中の人物名は一部仮名となっている。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール(〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉4丁目1番1号、電話045-564-2444、e-mail: case@kbs.keio.ac.jp)。また、注文は<http://www.kbs.keio.ac.jp/>へ。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法(電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない)による伝送も、これを禁ずる。

30

Copyright© 高田朝子、横田絵理 (2012年8月作成)